

鳴立庵だより

鳴立庵とは、江戸時代から続く俳諧道場です。
初代庵主大淀三千風が開き、現在では京都の落柿舎、滋賀の無名庵と並び日本三大俳諧道場と呼ばれているといわれるよ。



鳴立庵大使「えんいくん」

今月の俳句

一歩ずつ立ってしゃがんで蓬摘む

愛媛県済美平成中等教育学校

川口 心実

季節は「蓬」。艾の原料ともなる葉草である。「百人一首」の「かくとだにえやは伊吹のさしも草さしも知らじな燃ゆる思いを」で有名である。その「蓬」の、春先に摘んだ若芽は「蓬餅」の原料にもなるので、春になると、多くの人々が野山に入り込んで「蓬摘み」に余念が無い。出始めた「若い蓬」を選び選び摘むのはなかなか細かい神経も必要で、「一歩ずつ立ってしゃがんで」と言われると、その摘み草の景がありありと見えてくる。

(鳴立庵庵主 本井 英)

今月の短歌

味噌汁のつみれはひとり三つずつ
数は家族につね添い来たり

埼玉県鴻巣市

黒沢 梓

近年の情報は詳細な数字を示して相手を説得しようとするものが多くなりました。けれども情報としての数字にはどこか胡散臭さがあります。この歌の下句の「数」はそれとは違った、家事育児を預かる、いわゆる主婦の経験から生み出された認識が読者を納得させます。言われてみると、五十年くらいの間に家族の数は増えたり減ったりします。味噌汁を配膳するときは、つみれを三つずつ入れます。上句の具体から下句の感慨への展開が説得力をもっています。生活感が歌を支えています。

(西行祭選者 今井 恵子)

「めいど いん おおいそ」 登録産品紹介

問 大磯らしい潤いづくり協議会 (大磯町商工会)
☎ (61) 0871



【OISO 小島ブルーベリー園】

問合せ先: ☎090 (4959) 3370



ブルーベリージャム

【かたつむりの家】

問合せ先: ☎ (62) 1180



パウンドケーキ

安心して暮らせる日常のために。 地域密着の支援サービス。

身元保証が必要な場面や、入院・施設入所にあたっての手続き、
独居や親戚が遠方にいるなどの事情から、将来に不安を感じている方へ。
お一人おひとりの状況を伺いながら、必要な支援と一緒に整理します。

まごのおててサービス 無料相談受付中

いつでもお気軽に下記へご連絡ください!

合同会社 Me-ing 高橋 080-6911-5771

広告